

は読者のみなさんとともにつくります

ホームページ <http://www.sanyo.oni.co.jp>

やっぱり暖房はガスがええんじゃ!

岡山ガス www.okagas.co.jp

OGS ウィンターキャンペーン実施中!



3・11 東日本大震災から1年

岡山、倉敷市の母親たちでつくる子育てサークル「岡山子育て応援団パピママ」は、東日本大震災の発生から1年となる3月11日に、被災地の子どもたちにお菓子や衣類・肌着、歯ブラシなどを届けることにし、物資の提供を呼び掛けている。被災地への応援メッセージがびっしりと書き込まれた白い布袋に詰めて贈る。(斎藤英宗)



応援メッセージが書き込まれた布を切り分け、支援物資を入れる袋を作るパピママのメンバー

子どもたちへ物資を

パピママ運営者の石川智美さん(34)＝岡山市南区浜野＝は「震災1年の節目には、子どもたちにもつらく悲しい思いがよみがえるはず。サンタが持っているような大きな袋を届けて一瞬でも笑顔になってほしい」と話している。

募っている物資はほかに、ペーパー用紙おむつ、トイレットペーパー、ティッシュ、ウェットティッシュ、消毒ジェル、マスク。いずれも新品に限り、お菓子は賞味期限に余裕のあるもの。宮城、岩手県内の児童養護施設や乳児院などに問い合わせ、必要な品を聞いた。

袋に使ったのは、昨年4

岡山、倉敷の子育てサークル「パピママ」

菓子や衣類募る

月以降の震災支援イベントなどの会場で、来場者にメッセージを書いてもらった縦1・1メートル、横20センチの布。「早くもどおりになるように」「一緒にがんばろう」の言葉や、かわいらしいアニメのキャラクターがたくさん描かれており、10枚程度に切り分けて縫い合わせた。

物資は2月5日まで、県ボランティア・NPO活動支援センター「ゆうあいセンター」(岡山市北区南方)で受け付けている。同日午後1時半から3時半まで袋詰めをする予定で、作業の協力者も募っている。問い合わせは石川さん(090-9411-1899)。